

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2025.8  
No.2

**UNITE FOR GOOD**

2025-2026年度  
ガバナー 松下 孝

RI2780地区ポリシー

**Have Fun Rotary:ロータリーを楽しもう!**



「あさがお」  
夏の名残を感じさせながら、  
秋の訪れをそつと知らせてくれる花です。  
やさしい紫の花が、  
日常に涼やかな季節の  
彩りを添えてくれます。

Rotary  
RID2780



## ガバナーメッセージ

# クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区  
2025~26年度ガバナー

松 下 孝

(伊勢原RC)



新年度が始まり、1ヶ月が経過し、会長・幹事の皆様のクラブ運営は如何でしょうか？

年度開始直前のRI会長交代劇で、多少の混乱は予測しておりましたがお陰様で各クラブとも順調な滑り出しだとガバナー補佐から連絡を受けております。

今年度は、地区大会が終わってからのガバナー補佐、ガバナー訪問とさせて頂きますので、RIの動向について疑問に直接お答えできません。この月信を通じて、いくつか説明をさせて頂きます。

先ずは、RI会長メッセージについてです。今年度は従来のようなRI会長テーマやロゴが無くなり、RI会長メッセージになりました。しかし、ネクタイやその他のグッズは継続して製作されていますので「何が違うのか？」という疑問があると思います。

そもそも、RI会長テーマやロゴは会長イニシアティブ戦略として作られたものでした。

会長イニシアティブとは、ロータリー会員を鼓舞し、永続的な影響を残すことを目的としたものですが、より戦略的なアプローチが必要になったことや、事務局のリソースを圧迫する、即ち経済的な理由から、2023年10月のRI理事会で会長イニシアティブ戦略の廃止が決定され、RI会長テーマやロゴが無くなったということです。

一方、会長メッセージについては、2024年5月のRI理事会にて複数年にわたる行動計画に基づく会長メッセージを、コミュニケーション委員会と戦略計画委員会が提案し、理事会が承認することを決定しました。

今回のRI会長メッセージは「UNITE FOR GOOD（良いことの為に手をとりあおう）」です。これは、ロータリーのビジョン声明の中の「人びとが手をとりあって（people unite）」と、「世界で良いことをしよう（Doing Good in the world）」を合わせたものだと推測します。

次年度以降も、「ロータリーのビジョン声明」、「行動計画」等から文言を抜粋したRI会長メッセージが出されるか「UNITE FOR GOOD」が継続されるのかは、2026年1月に開催される中込エレクト参加の国際協議会報告を待ちたいと思います。

RI会長テーマやロゴが無くなりましたが、経過措置として従来のテーマと同様に会長メッセージを使用を推奨しています。これは、一つのボイスで一貫したメッセージを発信するためです。「クラブと地区が策定したそのほかのテーマは、年次会長メッセージに置き換えるか、廃止すべき」との指示がありました。そのため、今年度は地区ポリシーとして、「Have fun Rotary」を掲げました。ポリシーとしたのは、RIの指示に従った結果で単に言葉の問題と思つてください。

しかし、クラブは必ずしもRI会長テーマに関係するテーマを策定してきた訳ではないと思いますので、RI会長メッセージをどの様に取り扱われるかも併せて、クラブのご判断にお任せしたいと思います。今年度クラブの目標達成に向けクラブ会員と一丸になって頑張ってください。地区がご支援できることや疑問等がありましたらガバナー補佐にお問合せください。

月間に因んで

# 意 識

地区会員増強維持委員会  
委員長 木本 己樹彦  
(藤沢南RC)



ロータリーの未来を形作る上で、会員の増強と維持・定着は避けて通れない課題であり、また我々がより大きな奉仕を可能とするための基盤もあります。

2025-26年度のRIテーマである "UNITE FOR GOOD"（良いことのために手を取りあおう）は、単なるメッセージにとどまらず、我々のクラブが地域社会にとって真に必要とされる存在であり続けるための指針を示しています。では、会員増強とこのテーマはどのように結びつくのでしょうか。

ロータリーが社会に善をもたらす存在であるためには、多様な価値観・経験・専門性を持つ人々が集い、力を合わせることが必要不可欠です。その意味で、"UNITE" は単なる集団化ではなく、「違いを越えて共に活動する」という精神の表現です。そしてそれは、まさに我々が新たな会員を迎える、共に歩むという営みに他なりません。

まず、会員を増やす上で重要なのは、「誰を迎えたいか」という明確なビジョンを持つことです。奉仕の心を持つ人であれば、年齢や職業、国籍にとらわれることなく、多様性を重視する姿勢が求められます。ロータリーが「多様性、公平さ、インクルージョン (DEI)」を重視していることを改めて確認し、開かれたクラブづくりに努める必要があります。

このような多様性の受け皿として、近年注目されているのが「衛星クラブ」の活用です。衛星クラブは、地域やライフスタイルに合わせた柔軟な運営が可能であり、従来のクラブに馴染みにくかった層にもロータリーの門戸を開く仕組みです。若年層や共働き世代、専門職のネットワークなど、新たな接点の創出にも繋がり、本クラブとの連携を通じて活動の幅を広げることができます。まさ

に "UNITE" の精神を体現する、新しいロータリーの形と言えるでしょう。

また、「何のために入会するのか」「入会後、何が得られるのか」を明確に伝えることも重要です。単なる親睦の場ではなく、地域社会や世界にインパクトを与える活動を通じて、自己成長や他者との協働の価値を実感できることを伝えるべきです。ロータリーの魅力を『見える化』し、候補者が「ここでなら自分の力を発揮できる」と感じられるような語りかけが必要です。

そして、何よりも忘れてはならないのは、新たな会員を迎えた後の維持・定着のためのサポートです。この増強と維持の取り組みは、クラブ会長をはじめ、すべてのクラブメンバーが『意識』を持って主体的に関わるべき重要な責務です。せっかくご縁があり入会いただいたにも関わらず、居場所を感じられずに去っていく方が少なからず存在します。新会員一人ひとりがクラブの一員として受け入れられ、尊重されていると実感できるよう、メンター制度の充実や交流の機会創出など、継続的な関わりを大切にしたいものです。

今こそ、"UNITE FOR GOOD" というメッセージのもと、我々自身の姿勢を問い合わせ直す時です。単に会員数を増やすことだけが目的ではなく、多様な仲間と力を合わせ、共に善をなすためにその志を分かち合える人々を迎え入れ、そして共に未来に歩み続けることが、これからロータリーに求められているのです。

ロータリーがさらに希望ある未来を切り拓いていくために、我々一人ひとりが「つなぐ」「迎える」「支える」ことの意味を見つめ直し、意識と責任を持って、真の団結へと歩を進めてまいりましょう。

## CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
月間に因んで 「意識」	3

地区R財団セミナー/補助金管理セミナーについて	4
委員長挨拶	5
新会員紹介 他	11

## セミナー

## ■ 地区R財団セミナー/補助金管理セミナーについて

財団補助金・VTT委員会  
副委員長 中村太郎  
(相模原RC)



2025年7月12日(土)に、国際ロータリー第2780地区ロータリー財団セミナーとグローバル補助金向けの補助金管理セミナーを辻堂のアイクロス湘南6階会議室にて開催いたしました。当日は、前半がロータリー財団セミナーで32クラブよりクラブ会長、ロータリー財団委員長など50名を超える参加者がおり、地区関係者と地区財団関連委員会も含めると90名近くにご参加いただきました。司会進行は、財団補助金・VTT委員会副委員長である私(中村)が務めさせていただき、資料の確認から始まりました。松下孝ガバナーよりご挨拶と財団委員会構成を含めた地区財団方針をお話しいただきました。続いて田島敏久パストガバナーロータリー財団委員長よりロータリー財団についてご説明いただきました。

その後、各小委員長の説明に入り、まずは、吉野龍彦財団補助金・VTT委員長より配分計画表をもとに皆さまからご寄付頂いた資金が「世界でよいことをするために」ロータリー財団で、どのように運用され、使われているのかご説明いただき、落合伸一平和フェロー・奨学生委員長からは「平和フェローと財団奨学生について」ご説明いただき、最後に富岡弘文財団資金推進・ボリオ委員長より「財団寄付と実績について」ご説明いただき、寄付の重要性についてご理解を深めていただきました。

続いて地区補助金事業の発表について鎌倉中央RC青木小枝直前会長より地区補助金を利用した「盲学校の子供たちを海とバーベキューに招待するプロジェクト」の事業発表を、事業当日の動画を含めてわかりやすく行っていただき、地区補助金を利用することによりクラブ単独では資金的に厳しいプ

ロジェクトも実施出来るとご評価いただきました。発表の最後に財団学友会代表幹事岡山夏生さんより「留学での学びとキャリアへのつながり」というテーマで留学経験だけではなく、留学経験が現在の仕事とどのようにつながっているかについてお話ししていただきました。その後、講評を大谷新一郎パストガバナー財団地域コーディネーター補佐よりお話をいただき、閉会の挨拶を中込仁志ガバナーエレクトよりしていただき、財団セミナーは終了しました。

休憩を挟んで後半のグローバル補助金向け補助金管理セミナーでは義澤彰財団補助金・VTT副委員長の司会進行でスタートしました。参加者は11クラブ、19人にご参加いただき、今年度改定されたグローバル補助金ガイドブックをもとに私(中村)から説明しました。質疑応答では活発なご質問をいただき、各クラブからグローバル補助金に対する期待の高さが伺えました。最後に松下孝ガバナーより挨拶と共に、一人ひとりに受講修了証を手渡していただき終了いたしました。

地区財団委員会では、当日ご欠席されたクラブの方でもロータリー財団についてわかりやすくご理解いただけるようにロータリー財団ハンドブック(電子版)を作成しております。右記QRコードからダウンロードいただき、ロータリー財団への理解を深めていただきご寄付へのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



[https://www.rid2780.com/other/resource\\_download/index.html](https://www.rid2780.com/other/resource_download/index.html)



## 委員長挨拶

## 地区行動計画委員会

委員長 相澤 光春 (ふじさわ湘南 R C)

ロータリーの行動計画は2024-25年度から、優先事項と戦略的方向性は3年間の3-Year Rolling Targets/Planとして位置付けられました。



そして1年目は各クラブに推進役としてクラブ行動計画推進リーダーの選任のお願いをいたしました。

本年はその2年目でございます。次のとおり各クラブ活動の更なる活性化のために、推進してまいります。

- ①ロータリー・地区 ACTION PLAN行動計画に照らし、各クラブのACTION PLAN策定を推進してまいります。
- ②過日お願い申し上げました、クラブサポートミーティングのための25-26、26-27年度目標入力、13項目（クラブセントラル入力済も含め転記入）の入力をお願い申し上げます。
- ③地区アクションプラン2026-2027の立案  
各クラブ会長・幹事の皆様方にはお忙しい所恐縮に存じますが、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

## 地区ラーニング委員会

委員長 佐野 英之 (秦野 R C)

『より良き理解者・実践者・伝承者』



研修から参加者中心のラーニングの役職、行事名変更となり二年目を迎える事となります。この研修の目的は、ロータリーの目的、基本理念に基づくその使命及び組織や活動内容を学び、且つ理解し、これら自分の職業、クラブ活動及び、社会生活等に活かす事により、各自身の向上と社会発展に寄与する事で有ります。私達は、ロータリーを学ぶ事により、自己の修練、クラブの維持発展、更に社会の発展に寄与するものと期待されます。又、私達はロータリーの「良き理解者」であり「より良き実践者」でもあり「より良き伝承者」でなければなりません。このロータリーの「より良き理解者」は「善く学び探求する人」であり、「より良き実践者」は、自ら進んで「善く奉仕をする人」であり「より良き伝承者」は、ロータリーの存続発展の為に「広く会員を増強し、ロータ

リーを正しく伝える人」ではないでしょうか。

ロータリーでのクラブと地区的リーダーは、常に新しい人材が必要であり、様々な役割を担う事となり、次期リーダーや未来のリーダーを育てる為の研修が必要でもあります。その為には次年度に向けたラーニングが用意されております。地区大会指導者育成セミナー、財団セミナーをはじめ、ガバナー補佐エレクト研修、地区チーム研修セミナー、クラブ会長エレクトセミナー、地区ラーニングセミナー等々、そしてクラブに対しての研修や情報の提供等の役割があります。当委員会、昨年同様少ない人数ですが、精一杯頑張る所存でありますので、皆様の更なる御理解御協力をお願い致します。

## 地区危機管理委員会

委員長 佐々木 辰郎 (大和田園 R C)

『危機管理について』



私共ロータリー活動は長きに亘り、自分の生業に対し地元の方々を始め、多くの方々の理解・協力があって成り立っていると多くのロータリアンは考えていると思います。そして、我々の活動が多くの方にも影響を与えている事も理解している事と思います。

しかし、私共のロータリー活動が肥大化する中で他人との関係が増え、それ故に我々自身が規律を守る、そして我々が行う全ての行事・行動について責任を問われる事は必然の事と考えます。

当初、ロータリーの危機管理は青少年交換プログラムに限定して行われていましたが、2021年より成人を含め対象を拡大しています。

危機管理はハラスマント防止を最重要課題として位置づけており、クラブ内での危機発生防止と解決のための提案・助言を行う事を目的として実施されています。危機管理委員会はガバナー統括の下、第三者委員会を含む組織として設置され、危機事案が発生した場合には、速やかに報告し、適切な対処の方策を講じる必要が求められます。

ロータリーは、ロータリーの行う、全ての行事・イベントに対し、青少年やロータリアンそして一般の参加者を守る為の効果的な手続きを作成・実施・維持するためのガイドラインを提起し、地域の法令に合わせて適宜変更し、実施する事が求められています。

我々が行う行事、特に青少年を初め多くの方々が参集する会議・行事には地域や自國のみならず友好

## 委員長挨拶

国との問題発生を確実に防止する事が望まれています。

これらを確実・正確に行う事が我々の委員会役目と捉えています。

ご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

## ■姉妹地区委員会

委員長 田島 透 (ふじさわ湘南 R C)

### 『姉妹地区委員長として』

姉妹地区委員長として2年目を拝命しました。微力ではありますが姉妹地区の発展に尽力させていただきます。



第3772地区との姉妹地区は11年目を迎えました。しっかりとした土台を築き上げてくれた先輩諸兄の成果の下に、さらなる発展へとつなげられますよう以下の4項目を考えています。

昨年度手つかずであった姉妹地区的未来やビジョンを委員会内で議論したいと考えています。このことで姉妹地区が新たな発展へつながる可能性があると考えています。

- (1) 地区大会を通じ相互交流を行う (2780地区は地区大会実行委員会が主体)
- (2) ズーム交流会開催・ホームページ作成
- (3) 姉妹クラブ・友好クラブ締結が、異なる国や地域のクラブ同士が相互に交流を深め、友情を育み、協力して奉仕活動を行うための重要な手段であることを月信等を通じて発信する
- (4) 姉妹地区委員会の未来やビジョンについて議論する

以上

## ■ロータリーの友 地区代表委員

委員長 生駒 秀之 (綾瀬 R C)

2025-26年度「ロータリーの友」地区代表を仰せつかりました、綾瀬RCの生駒です。歴代の地区代表に近づくように活動をしたいと思っています。地区の委員会やグループ、各クラブの活動に多く参加し、2780地区の活動や会員の皆さんのお声を「友」に掲載できるように努めたいと思っています。掲載、投稿される事でより、友への購読へ意識を高めて頂く一助になれば幸いです。クラブの例会や会長幹事会などでも「友」の記事、寄稿、月間テー



マ等のお話が、クラブ会長やクラブ担当者の方から、例会や委員会で伝えていただけるようお願いしたいと思っています。たくさんの投稿、寄稿を重ねて宜しくお願ひいたします。良かった記事や寄稿に対してのご意見も同時に頂けると助かります。1年間、ご協力ご鞭撻宜しくお願ひいたします。

## ■地区クラブセントラル委員会

委員長 村上 進 (藤沢東 R C)

### 『Club Central 100%』

このたび、クラブセントラル委員長を拝命いたしました村上でございます。国際ロータリー会長メッセージである「よいことのために手を取りあおう」のためには、データに基づいた行動が不可欠です。クラブセントラルは、各クラブの目標設定と達成状況を「見える化」する重要なツールであり、計画的かつ戦略的な奉仕活動の推進に欠かせません。本年度は、より多くのクラブがクラブセントラルを積極的に活用し、目標の設定・管理が自然な流れとなるよう、丁寧なサポートと情報共有に努めてまいります。皆さまの活動の成果がより広く認識され、持続可能な奉仕が実現するよう、全力を尽くしてまいりますので、どうぞご協力のほどよろしくお願ひいたします。



## ■地区公共イメージ・ホームページ委員会

委員長 小野 良太郎 (秦野中 R C)

### 『公共イメージ向上と クラブサポートを』



本年度RIは「よいことのために手を取り合おう」をテーマに、また松下ガバナーは「Have Fun Rotary ロータリーを楽しもう」を掲げられています。そして松下ガバナーにより、フォロワーの倍増、クラブの広報活動支援、地区ホームページの迅速な更新、この要望クリアできるよう活動してまいります。各クラブの積極的な活動が外部に伝わり、公共イメージ向上となり、会員増強、クラブ活性化に繋がるようサポートしていきます。そのためにもツールとしてFacebookを強化していくよう委員皆知識を深め、積極的に活用してフォロワーを増加を図ります。またサミットを開催して、各クラブの現状を把握し、広報活動支援も行ってま

## 委員長挨拶

いります。そして地区大会、国際大会等の情報を迅速に更新して情報共有を強化していきたいと思っております。各委員楽しく活動し、そして各クラブのお役に立てるよう精進してまいりますので、1年間よろしくお願ひ申し上げます。

## ■ オンツー台北国際大会委員会

委員長 中込 仁志 (鎌倉RC)

『2026年 台北国際大会に向けて』

来る2026年6月13~17日の日程で、台北国際大会が行われます。



地区内、多くのクラブの皆様も、姉妹クラブや友好クラブを締結されておられ、大変に馴染みの深い友好国である台湾の方々と、日頃より友情を交わしておられることと思います。

2780地区事業でも、ここ数十年にわたりインター アクト研修旅行先として、台北3481地区の皆様にお世話になっております。

本年は6月14日に台北市内におきまして、2780地区ナイトを開催させて頂く予定であります。会場選別から3481地区の皆様にご協力を頂いております。

大変に親しみのある台湾での国際大会です。是非、たくさんの会員の皆様にご参加、ご登録頂けますよう、お願ひ申し上げます。

## ■ 地区会員増強維持委員会

委員長 木本 己樹彦 (藤沢南RC)

『手を取りあって、

持続可能なクラブへ』



ロータリーの未来を形づくるうえで、会員の増強と維持は欠かせない使命です。2025-26年度のメッセージ "UNITE FOR GOOD" が示すように、私たちは奉仕の力を結集し、地域社会により大きな影響を与えることが求められています。

一人ひとりの会員を大切にし、クラブの魅力を内外に発信することが、増強・維持の第一歩です。多様な人材が集い、風通しの良いクラブは自然と新たな仲間を惹きつけ、持続可能な組織へと成長していきます。

すべてのクラブが「選ばれるクラブ」となることを目指し、皆さまと手を取りあって前進してまいり

ます。各クラブに合った増強・維持・拡大に向けて"意識"を持ち、情報共有を図りながら、全力でお手伝いさせていただきます。ご理解とご協力を賜りますよう、お願ひ申し上げます。

## ■ 地区職業奉仕委員会

委員長 田中 賢三 (茅ヶ崎RC)

『職業奉仕の概念は

ロータリー最高の特徴です』



役に立つロータリー、それは職業奉仕を理解することから始まります。最高の倫理観をもって事業や奉仕活動に当たることです。あなたの職業の専門知識や技術は日々向上している事でしょう。自分と家族、事業、奉仕活動などを営み実行するに当たっては専門知識と最高レベルの倫理観が必要となります。ロータリーの中核的価値観は、親睦 (fellowship)・高潔性 (integrity)・多様性 (diversity)・奉仕 (service)・リーダーシップ (leadership) と基本的特徴が表現されています。高潔性 (integrity) を例に挙げても Integrity は誠実・正直・高潔・品位・真摯・信頼など様々な意味を持っています。日本のロータリーは翻訳者の訳文で理解されていますが、今年度は原文の意味に光を当ててみたいと思っています。ロータリーはあなたの人生や事業に役に立つことを願っております。そのため委員会活動をしてまいります。

"ロータリー 職業スキルが 役に立ち"

## ■ 地区奉仕プロジェクト委員会

委員長 山口 道孝 (鎌倉中央RC)

『少しでも多くの奉仕プロジェクト  
が実現しますように』



地区内の奉仕プロジェクトを通して「楽しい」と「Have Fun Rotary」が実現できるよう、当委員会の役割を果たしていきたいと考えております。

回避し難い環境問題、全人類が切望しているはずの世界平和とは逆行する世界情勢、多文化共生社会の実現を目指すといわれて久しい現在、未だ異文化・異民族に対する無関心、無理解、差別が蔓延する社会に生きながら、地道であっても私たちがトライしようとする奉仕プロジェクトの意義を感じます。

## 委員長挨拶

前々年度に立ち上げ、前年度アップグレードされた「国際奉仕リソースネットワーク」をさらに使い易い形態に改善しながら、効果的でアピール性の高い、他クラブへも連鎖していくようなパイロットプランが各クラブから生まれることを期待しております。

奉仕プロジェクトの輪が、地区から世界へと広がっていくために、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 地区青少年奉仕委員会

委員長 久保田 英男 (鎌倉RC)

### 『若者の活躍・未来への窓』

青少年奉仕委員会は、青少年交換委員会、インターラクト委員会、ロータリアクト/RYLA委員会の三委員会を統括する役割として、今年度久々に設置された委員会となります。これらの委員会は、それぞれ独自の青少年プログラムを実施し、地域や国際社会に貢献する若者の育成と支援を行っています。統括というと管理するような印象があるかと思いますが、方法や手法が違っても、同じ目的を持つ各プログラムが、委員会の枠を超えて、互いに協力協働することにより効果的にユニークな活動に繋げられるのではないかと考え、当委員会ではこれらのプログラム、またさらに広く同じ他のロータリープログラムで互いに交流交友する機会を作り、若者の可能性や行動の範囲を広げるお手伝いを行っていきたいと思っています。若者の活躍という窓からは次の時代が鮮明に映し出されています。そして、それは私たちの未来でもあります。これらの活動に関心を向けて頂ければ幸いです。



## インターラクト委員会

委員長 榊原 正博 (鎌倉RC)

### 『主体性と国際性を育む』

#### インターラクトの推進』

インターラクト委員会では、100人を超える中高生インターラクターが主体的に活動できるよう、危機管理の意識を持ちながら、しっかりとサポートしてまいります。

今年度は、地区内の他校との交流をさらに深める



とともに、毎月のアクターズミーティングを通じて国際理解と社会奉仕への意識を高め、リーダーシップを育む場を提供します。

アクターズミーティングでは、ポリオ募金や逗子海岸清掃などの社会貢献活動に加え、生徒たちが自ら企画し実施する事業、台湾研修や、初の台湾インターラクターの来日交流も予定されています。これらの経験を通じて、次世代の国際的視野と行動力を備えた若者を育ててまいります。

また、当地区におけるインターラクトクラブの活動が、益々盛んになることを目指し、新しいインターラクトクラブが提唱されるよう、地区内のクラブへの働き掛けとサポートを行っていきたいと思います。

## 青少年交換委員会

委員長 西澤 勇司 (相模原RC)

### 『青少年交換プログラムの 素晴らしさについて』



2025-2026年度青少年交換委員長を拝命致しました、相模原RC所属の西澤勇司と申します。

青少年交換プログラムに参加する派遣学生の成長や、来日学生の11ヶ月余りの間の成長は目を見張るものがあり、彼らの成長に触れて毎年感動させていただいております。

派遣学生は11月の選考試験で選考され、派遣候補生として約7ヶ月の研修を終えて派遣先に飛び立つて行きます。そして約11ヶ月間の海外生活を通して別人のように自信に満ちた顔つきに成長して帰国してきます。

来日学生も8月に来日時は日本語での挨拶がやっと出来る学生達が、新年を迎える頃には日本語力もアップして、それぞれの個性を發揮しながら、ホストファミリーやカウンセラー、ホストクラブ、地域社会との接点を持ちながら月を追うごとに成長の過程を我々に見せてくれます。

是非、皆様も来日学生のホストファミリーやグループ内の学生とコミュニケーションをとっていただき、青少年交換プログラムの素晴らしさを感じていただければ幸いです。

1年間よろしくお願い申し上げます。

## 委員長挨拶

## ローターアクト・RYLA委員会

委員長 伊澤 敏典 (茅ヶ崎湘南 R C)

## 『R CとR A Cの連携へ』

RYLA (Rotary Youth Leadership Awards・R 青少年指導者養成研修) 2023度より当地区独自に。青少年奉仕プログラムに関わる I A C、R A C、青少年交換学生、ROT E X、米山奨学生、学友を対象に開催。



昨年度、R Aを企画の中心に、若い柔軟な発想でプログラムを作成。それを運営する中で、リーダーシップスキルを磨き、参加者同士の意見交換などで理解を深め、それぞれのプログラムに興味を持ち、新たなステージに取り組む機会となりました。本年は、2026年3月20日～21日の予定で開催します。

R A Cは、組織、事業資金など単独では活動幅にも限界があり、R Aの若い柔軟な発想力、I Tスキルには、学ぶべきものが多くあります。R A CとR Cの相互理解、協働事業の模索など、連携の機会を作りたいと思います。主催事業が多く開催されます。多くのロータリアンにご参加いただき、R A Cの思考への理解を深める機会にしたいと思います。

## 地区ロータリー財団委員会

委員長 田島 敏久 (相模原西 R C)

## 『地区財団委員長としての2025年度～2026年度のVISION策定』



分断化された世界でROTARY奉仕活動を如何にするかどうかが、最大のテーマであります。カルガリ国際大会でRI会長ステファニー・アーチック氏は、「会員同士のつながりの力を再認識するよう」呼びかけました。次期会長のフランチェスコ・アレッツォ氏は、「UNITE FOR GOOD」のメッセージを提唱しました。全ての会員だけでなく、地域の行政機関や他のボランティア団体など、巻き込むこと、即ち、「参加者の基盤を広げる」を意味しています。

ROTARY財団の使命は【世界で良いことをしよう】との理念の基、財団創設者ARCHI・KRUMPの「ROTARYを不滅なものに」という設立意義を以て、世界平和に貢献します。

従って、ROTARY会員はじめ、より良い世界を築こうというVISIONを共有する財団支持者の方々

から自発的な寄付によって支えられています。

我々の財団の役割は 使命と共に鳴る会員、仲間たちを増強する事です。

## 財団補助金・VTT委員会

委員長 吉野 龍彦 (平塚湘南 R C)

## 『補助金を活用してクラブ活性化を』

当委員会は、昨年までの補助金・VTT委員会と補助金管理委員会が統合された委員会です。



各クラブの皆様より地区補助金申請された場合に、地区及び国際ロータリー財団 (TRF) の承認手続きからプロジェクト完了報告書提出まで当委員会でワンストップで行うことにより申請クラブ皆様に対して迅速性、利便性を高められるように致します。

地区補助金を活用したクラブ奉仕プロジェクトには3つの効果があると言われています。

- ①クラブ財政のお手伝い。
- ②クラブ内の結束が高まる（1つの事業を経験の長い会員もまだ若い会員も一緒に全員でプロジェクトを行うので一致団結する）。
- ③会員増強（プロジェクト完了後に地元紙などに掲載され、ロータリーの認知度が向上すると共に一般の方から一緒に奉仕活動をしたいと、ロータリーへの入会希望が出る）。

地区補助金、グローバル補助金の資金は全て会員皆様の貴重なご寄付で成り立っております。

どうぞ補助金申請をして頂き、ロータリー財団の理念であります「世界でよいことしよう」を実現されることをご期待申し上げます。

## 財団資金推進・ポリオ委員会

委員長 富岡 弘文 (大和 R C)

『地域で、世界でよいことをしよう！  
寄付はその一歩目です』

異なる職業の人が集い、友情を深め、互いの利益とすることが、1905年にロータリーが発足したころの主眼だったのだと思います。

瞬く間に世界中に広がったロータリークラブは、1917年に国際ロータリー会長だったアーチ・クランプが「世の中によいことをしよう」と呼びかけたことからロータリー財団の基金が生まれました。ロー

## 委員長挨拶

タリーの寄付は奉仕活動の一環。私たちの寄付がどのように使われるか、自分たちの活動資金への活かし方など、興味を持って頂きたいです。1年を通じて卓話の依頼を受けますのでよろしくお願ひ致します。

そうは言っても私自身、地区財団委員会は3年目です。知識の多くを委員会で作成した「財団ハンドブック」で学びました。地区ホームページの会員向けサイトで「各種資料ダウンロード」にあります。クラブの活動状況なども見られますので、是非ご利用頂きたく存じます。

## ■ 平和フェロー・財団奨学委員会

委員長 落合 伸一 (横須賀西RC)

## 『未来のリーダーを育てています』



今年度、平和フェロー・財団奨学委員長を仰せつかりました落合と申します。平和フェロー・財団奨学委員会は10名で構成され、8月にケニアから24期生ヒラリー・キプロコリルさんが来日し当地区で2年間お世話をいたします。今年度は10名のフェローが東京国際基督教大学に来日し7地区でフォローしていきます。

平和フェローは、まだまだ認知度が低いですが皆様に关心を持っていただけるよう情報発信に努めてまいります。皆様からの財団寄付の一部は平和フェローや財団奨学生の奨学金に充てられます。毎年、優秀な学生達が未来や平和の夢に向けて羽ばたいて

いきます。学生達の研究成果を発表するロータリー平和センタ一年次セミナーや財団奨学生帰国報告会が毎年開催されますので是非多くのロータリアンの方にご参加いただけたら幸いです。よろしくお願ひ致します。

## ■ 地区米山奨学委員会

委員長 米山 俊二 (平塚RC)

## 『世界に広がれ！平和の懸け橋』



米山奨学委員会は、奨学生一人ひとりの個性と可能性を尊重し、心のつながりを大切にし、しっかりとサポートを行って参ります。

平和と友情の懸け橋となる奨学生たちが、ロータリアンとの様々な交流を通じて成長し、未来を担う人材として羽ばたくための支援活動を展開して参ります。また、ロータリーの宝である米山学友会も今年度役員の改選を行い、新たな意気込みで活動してゆく事と思います。様々な場面で奨学生にアドバイスを出来るよう、学友がリーダーとなるチューター制度を基軸とした学友会組織の活性化を支援して参ります。委員会の活動目標としては、各種米山事業への早めの告知としっかりとした動員を行います。各種事業の広報活動にも力をいれ地域の方々にも米山奨学事業への理解に努めます。そして、最後に各クラブ全ての皆様に米山記念奨学会の活動にご理解を頂き、適切な寄付を募り、各種事業へのご協力をお願い申し上げ挨拶とさせて頂きます。

## 《表紙の絵・作者紹介》

## 劉 紫瑩 (リュウ シエイ)

- 中国出身
- 女子美術大学  
デザイン工芸学科  
ヴィジュアルデザイン専攻  
在学中
- 世話クラブ／伊勢原RC

中国の大学卒業後、デザインの道に進むことを決心して日本へ留学。ヒューマンアカデミー日本語学校 東京校へ2年間通い、現在、女子美術大学にてデザインを専攻しています。  
米山ロータリークラブ奨学生として2年目を迎えました。



## 新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



ありま ひろかず  
**有馬 宏年**  
①藤沢西  
②2025.05.08  
③排水管清掃業  
④高橋 直哉



まつお しょうた  
**松尾 正太**  
①本厚木  
②2025.06.05  
③複合サービス業  
④藤井 立秀



よこて ひさえ  
**横手 久枝**  
①本厚木  
②2025.06.05  
③建設業  
④金澤 平



かいせ てるみ  
**海瀬 光美**  
①足柄  
②2025.06.06  
③歯科医師  
④石田 真理



ふじさわ とものり  
**藤澤 知範**  
①藤沢西  
②2025.06.07  
③建設業  
④端山 創之



しばた よしのり  
**柴田 喜文**  
①相模原中  
②2025.06.17  
③飲食業  
④河野 崇、  
小崎 直利



えんどう ひろみ  
**遠藤 弘美**  
①寒川  
②2025.06.29  
③飲食業  
④中村 光良、  
山本 和好



ちば しげる  
**千葉 茂**  
①横須賀北  
②2025.07.01  
③損害保険  
④小菅 健史、  
芹澤 達之



あきおか としゆき  
**秋岡 聰行**  
①厚木  
②2025.07.01  
③総合保険  
④高橋 宏



たがわ ゆうすけ  
**田川 祐介**  
①厚木  
②2025.07.01  
③都市ホテル  
④黄金井康巳



きくがわ えいじ  
**菊川 栄司**  
①小田原城北  
②2025.07.01  
③金融事業  
④須藤 公司、  
澤田 大佑



ふるかわ たけし  
**古川 剛士**  
①小田原城北  
②2025.07.01  
③飲食店  
④須藤 公司、  
一寸木芳行



いけのうえ かずや  
**池之上 和哉**  
①相模原中  
②2025.07.01  
③OA機器の販売及び保守  
④櫻内 康裕、  
藤本 恵介



こじま ひろあき  
**小嶋 広明**  
①相模原中  
②2025.07.01  
③機械設備・治具設計  
④藤本 恵介



たかむら とものり  
**高椋 大寛**  
①相模原中  
②2025.07.01  
③AI/ソフトウェアサービス  
④丸子 勝基、  
藤本 恵介



みやもと れお  
**宮本 烈温**  
①相模原中  
②2025.07.01  
③FA人材手配  
④藤本 恵介



にしみず あつし  
**西水 厚**  
①横須賀西  
②2025.07.02  
③電気工事業  
④高橋 己幸、  
長島 澄雄



おおつか ゆか  
**大塚 有香**  
①座間  
②2025.07.02  
③生花販売  
④古木 普総



やまもと まさと  
**山本 信**  
①座間  
②2025.07.02  
③中古機械等売買輸出  
④鈴木 義隆



わくい あきら  
**和久井 彰**  
①座間  
②2025.07.02  
③総合仕出し料理業  
④古木 普総



さとう かずひで  
**佐藤 一英**  
①小田原北  
②2025.07.02  
③倉庫業  
④奥山 恵子、  
柴田 直明



あべ まさおみ  
**阿部 正臣**  
①本厚木  
②2025.07.03  
③保険業  
④金澤 平



いと ひろゆき  
**井手 広幸**  
①本厚木  
②2025.07.03  
③広告デザイン業  
④金澤 平



すみや しんいち  
**角谷 信一**  
①大和田園  
②2025.07.04  
③賃家  
④澤崎 秀夫



やまぐち しゅんすけ  
**山口 俊介**  
①大和田園  
②2025.07.04  
③鍼灸整体院  
④齊木 雄



はやき けいいちろう  
**早寄 慶一郎**  
①海老名  
②2025.07.07  
③都市ホテル業  
④小野塚政洋



ふかせ とおる  
**深瀬 享**  
①小田原  
②2025.07.07  
③金融事業  
④穂坂 肇



いいだ けい  
**飯田 慶**  
①箱根  
②2025.07.08  
③ホテル  
④田中 久士、  
勝俣 和久



かとう せいいち  
**加藤 誠一**  
①逗子  
②2025.07.10  
③銀行業  
④山口 次郎



はなおか しげのり  
**花岡 重徳**  
①小田原  
②2025.07.14  
③建設業  
④大谷 真、  
松蔭 英宣



もちづき かおる  
**望月 薫**  
①小田原城北  
②2025.07.15  
③建設付帯業  
④須藤 公司、  
一寸木芳行



かわせ わいち  
**川瀬 和一**  
①藤沢  
②2025.07.16  
③福祉施設等事業  
④小河 静雄、  
鈴木 大次



くぼた あいじ  
**久保田 愛児**  
①藤沢西  
②2025.07.24  
③土木・住宅解体業  
④藤澤 知範



ふくしま だいすけ  
**福島 大介**  
①平塚  
②2025.07.24  
③証券業  
④福澤 正人



やまもと むねひで  
**山本 宗孝**  
①海老名  
②2025.07.28  
③不動産売買業  
④小野塚政洋



きたむら まさゆき  
**北村 雅之**  
①小田原  
②2025.07.28  
③ホテル旅館業  
④櫻井 泰行

第2780地区 2025年6月末 会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数									
			6月末		年初		本年度入会者		本年度退会者		本年度会員増減	
			男女	女性	男女	女性	男女	女性	男女	女性	男女	女性
1	横須賀	4	111	16	115	16	9	1	13	1	-4	0
	横須賀北	3	22	5	20	5	2	0	0	0	2	0
	三浦	3	57	5	57	5	3	1	3	1	0	0
	横須賀西	4	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0
	横須賀南西	4	13	1	15	2	1	0	3	1	-2	-1
	横須賀RAC	2	4	0	8	1	1	0	5	1	-4	-1
	計		222	27	230	29	16	2	24	4	-8	-2
	R C合計		218	27	222	28	15	2	19	3	-4	-1
	R A C合計		4	0	8	1	1	0	5	1	-4	-1
	鎌倉	3	69	13	68	12	4	1	3	0	1	1
2	逗子	3	38	6	39	6	3	0	4	0	-1	0
	鎌倉大船	4	12	0	13	0	1	0	2	0	-1	0
	葉山	4	16	4	17	4	1	0	2	0	-1	0
	鎌倉中央	1	15	6	14	5	2	1	1	0	1	1
	鎌倉RAC	2	8	6	11	8	0	0	3	2	-3	-2
3	計		153	34	162	35	11	2	20	3	-9	-1
	R C合計		150	29	151	27	11	2	12	0	-1	2
	R A C合計		8	6	11	8	0	0	3	2	-3	-2
	藤沢	4	39	9	40	10	7	2	8	3	-1	-1
	藤沢西	3	22	1	19	1	3	0	0	0	3	0
	藤沢東	3	32	6	28	6	7	1	3	1	4	0
	藤沢北西	3	9	0	13	2	1	0	5	2	-4	-2
	藤沢南	4	48	9	45	8	4	2	1	1	3	1
	藤沢南デイスクバロー・リーガー	3	24	3	22	3	2	0	0	0	2	0
	ふじさわ湘南	4	34	0	34	1	2	0	2	1	0	-1
4	かながわ湘南	3	19	12	19	12	0	0	0	0	0	0
	アーカス湘南	3	3	2	3	2	0	0	0	0	0	0
	イバショントウェイ湘南	2	39	4	39	4	0	0	0	0	0	0
	かながわDEI	2	26	10	20	4	12	7	6	1	6	6
	計		295	56	282	53	38	12	25	9	13	3
	茅ヶ崎	4	47	4	46	5	4	0	3	1	1	-1
	寒川	3	37	4	37	3	1	1	1	0	0	1
5	綾瀬	4	32	1	37	1	0	0	5	0	-5	0
	茅ヶ崎湘南	4	41	1	42	1	2	0	3	0	-1	0
	茅ヶ崎中央	4	50	2	49	2	4	0	3	0	1	0
	綾瀬春日	4	20	0	23	0	1	0	4	0	-3	0
	計		227	12	234	12	12	1	19	1	-7	0
10	相模原	3	69	9	66	8	9	1	6	0	3	1
	相模原グリーン	3	45	4	45	4	1	0	1	0	0	0
	津久井中央	4	22	4	24	4	0	0	2	0	-2	0
	相模原橋本	4	70	8	70	9	8	1	8	2	0	-1
	相模原ニューシティ	2	55	7	45	6	10	1	0	0	10	1
	相模原あださが	2	38	2	30	2	9	0	1	0	8	0
	相模原RAC	1	29	13	32	13	3	3	6	3	-3	0
	計		328	47	312	46	40	6	24	5	16	1
	R C合計		299	34	280	33	37	3	18	2	19	1
	R A C合計		29	13	32	13	3	3	6	3	-3	0

本年度入会者数(人)	本年度退会者数(人)	本年度会員数増減数(人)	地区内クラブ	地区内会員総数(人)	( )内は女性会員
RC 220 (32)	RC 203 (30)	RC 17 (2)	RC 67	RC 2, 313 (302)	( )内は女性会員
RAC 4 (3)	RAC 14 (6)	RAC -10 (-3)	RAC 5	RAC 50 (22)	

## Rotary International District 2780

2025~2026 Governor Takashi Matsushita

■OFFICE/Aizawa Bldg. #1, 5F,  
22-7-501 Minami-Fujisawa,  
Fujisawa-city, Kanagawa  
251-0055 JAPAN  
Tel:+81-466-25-8855 Fax:+81-466-25-8866

**UNITE FOR GOOD**

2025~2026年度ガバナー 松下 孝

■事務所/〒251-0055  
藤沢市南藤沢22-7-501 第一相澤ビル5階  
Tel:0466-25-8855 Fax:0466-25-8866  
E-mail:g-office@rid2780.gr.jp  
URL:<https://rid2780.gr.jp/>